



Order of Operations

計算の順序

operation は数を操作すること。つまり、計算や数学の記号にそって数値を求めることです。アメリカの小学生は、その順番を“PEMDAS”と覚えます。

● 計算の順序の覚え方

P lease
E xcuse
M y
D ear
A unt
S ally



計算の順序

- 1 **(P)**arentheses かっこ
- 2 **(E)**xponents 累乗
- 3 { **(M)**ultiplication 掛け算
(D)ivision 割り算
- 4 { **(A)**ddition 足し算
(S)ubtraction 引き算

私の愛するサリーおばさんをどうか許して。

計算の順序として、かっこ内→累乗→掛け算・割り算→足し算・引き算となります。「掛け算と割り算」が並んでいるとき、または「足し算と引き算」が並んでいるときは、それぞれ前から計算します。かっこが2種類以上使われているときは、内側のかっこ内から計算していきます。この計算の決まりに従って、下の式の答えを出してみましょう。

Question

1. $27 + 60 - (8 \times 12 - 48 \div 4) \div 3 = \underline{\hspace{2cm}}$
2. $25 - [36 \div (12 + 6)] \times 8 = \underline{\hspace{2cm}}$
3. $15 - 6 \times 3 + 12 \div 3 \times 2 = \underline{\hspace{2cm}}$
4. $3^2 \times 3 + (29 - 8 \times 3) = \underline{\hspace{2cm}}$
5. $[6 \times (30 \div 2)] \div \frac{5}{15} - 9 \times 20 = \underline{\hspace{2cm}}$

Ans: 1. 59 2. 9 3. 5 4. 32 5. 90



operation 計算、演算
parentheses [パレンサシズ] かっこ、パーレン(単数形は parenthesis)